

天下分け目の「平成の関ヶ原合戦」展開中 「全国自治体・善政競争・平成の関ヶ原合戦」(ZENSEI・バトル)

(URL : <http://www.zensei.jp/>)

1 「全国自治体・善政競争・平成の関ヶ原合戦」の趣旨

これからの時代を真に地方の時代・市民政治の時代とするためには、地方主導による地方分権の確立が不可欠です。今日、地方分権の推進を阻んでいるのは、強固な中央集権の枠組みだけではなく、安易な中央ぶら下がり意識が残る地方の体質そのものではないでしょうか。このため、地方自治体自らが、互いに切磋琢磨し、その自治能力を高め、地方分権の受け皿としての能力、実力を世に示すことが必要であり、このことが、また、地方分権推進の近道となります。

こうしたことから、各都道府県、市区町村が、それぞれ先駆的・先進的取り組みを積極的に展開し、全国に向けて情報発信し、地方自治体相互間でお互いに知恵を出し合い、交換し、地方自治の能力を一層高めていく行動を、全国的な動きとして展開する場づくりを行う必要があります。

そこで、堺屋太一氏のご協力を得て、関ヶ原合戦の故事に倣って、インターネット上で、全国の自治体が善政競争を展開し、情報発信を行うため、平成14年9月15日、全国に向け「全国自治体・善政競争・平成の関ヶ原合戦」の開戦の狼煙を上げました。

2 本陣陣形【実施体制】 〈敬称略〉

- 軍 師 堺屋太一
- 参 謀 加藤秀樹 (「構想日本」代表)
小塩隆士 (東京学芸大学助教授)
- 旗奉行 谷本正憲 石川県知事 (全国知事会地方分権推進特別委員会委員長)
- 軍 奉行 山出 保 石川県・金沢市長 (全国市長会長)
山本文男 福岡県・添田町長 (全国町村会長)
- 大 名 都道府県知事・市区町村長による自主命名
- 広報支援軍 各全国紙、ブロック紙、地方紙、各放送局へ要請
(広報への支援、平成の関ヶ原合戦功名賞の授与)
- 評定衆 広く有識者からのコメントをいただく
- 設営奉行 梶原 拓 岐阜県知事
(「天下分け目の関ヶ原合戦」の舞台となった地の知事として設営)
- 陣 役 松岡正剛 (編集工学研究所長)
篠田英男 (大垣女子短期大学デザイン美術科教授)
- [設営協力] スイートバレー・ソフトピアジャパン
国際情報科学芸術アカデミー

3 サイトが担う役割

- 地方自治体の実力を示し、信頼を高めるために
～地方分権勢力の実力を強力にアピール～
- 地域間の善政競争を全国的なうねりとするために
～地域の自立と連携による善政競争～
- 新しい時代の地域を担う人達のために
～市民政治の実現～
- 地方主権を目指す全国自治体の実務者のために
～多様な情報発信・情報交流の実践～

4 参戦状況（7月24日 午前10:00現在）

参戦地域（都道府県エリア）数 45都道府県エリア

～残る「空白地域」は2県のみ～

参戦のない空白地域の都道府県エリア（2県）：茨城県、広島県

都道府県	36府県	1,751施策
指定都市	3市	33施策
市区町村	162市区町村	848施策
合計	201自治体	2,632施策

5 ホームページへのアクセス数

182,625件（7月24日 午前10:00現在）

6 「平成の関ヶ原合戦大名評定（大名たちの分権改革シンポジウム）」を開催

【日時】平成15年7月23日（水）13:00～14:30

【場所】グランドアーク半蔵門3F「華の間」（東京都千代田区隼町1-1）

【テーマ】『地方から日本を変える』

【パネリスト等】

梶原 拓（岐阜県知事）、片山善博（鳥取県知事）、木村良樹（和歌山県知事）、
末吉興一（北九州市長）、北川正恭（前三重県知事）、栗田幸雄（前福井県知事）、
平松守彦（前大分県知事）、鶴岡憲一（読売新聞東京本社編集委員）

※ 今後も各報道機関の協力を得て、シリーズとして開催予定

7 「第1回平成の関ヶ原合戦功名賞」を実施

【表彰主体】ZENSEI・バトルの取り組みの趣旨に賛同するマスコミ、企業

【対象施策】第1回功名賞の対象は、平成15年7月末までの登録済み施策

【選考方法】○サイト上で「功名賞」への推薦投票を実施（H15.7）

○評定衆（約250名）による支持投票を実施（H15.7）

○軍師等による評価委員会において行賞候補施策を選考審査（15.8）

○サイト上で選考結果を公表（H15.9）